



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 キング

コード番号 8118 URL <http://www.king-group.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田 幸雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理部門管掌 (氏名) 石井 修二

TEL 03-5434-7282

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	5,476	△5.1	274	△9.7	442	△7.9	275	△12.7
28年3月期第2四半期	5,769	△4.3	303	△40.8	481	△26.7	315	△23.1

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 231百万円 (△20.6%) 28年3月期第2四半期 291百万円 (△34.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	14.48	—
28年3月期第2四半期	16.34	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	22,734	19,684	86.6
28年3月期	22,839	19,700	86.3

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 19,684百万円 28年3月期 19,700百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	11,700	△4.6	690	3.5	1,010	△3.5	620	△4.2

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P3「(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	24,771,561 株	28年3月期	24,771,561 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	5,765,728 株	28年3月期	5,765,658 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	19,005,867 株	28年3月期2Q	19,297,671 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成28年5月9日に公表いたしました連結業績予想は、本資料において修正しております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州経済や新興国をはじめとした世界経済の減速懸念により不透明感が強まるなか、円高の進行や株式市場の低迷もあり、個人消費の停滞が続いております。

アパレル業界におきましても、先行きの不安感から衣料品に対する消費マインドの低下は依然として継続しており、消費者の節約志向や低価格志向に加え、台風や天候不順の影響も重なり、非常に厳しい経営環境で推移いたしました。

このような環境のもと当社グループでは、お客様にご満足いただける「強いものづくり」を変わらぬ基軸とし、独自性・複雑性の徹底追求、高品質・高感度な商品作りに引き続き注力すると共に、店頭運営力の更なる向上、生産管理の強化、経費の効率使用に努め、科学（構造式）をベースに、感性（想像力）を駆使して、継続的、安定的に質の高い事業内容を目指すべく取り組みました。

しかしながら、売上高は前年同期比5.1%減少の54億76百万円、営業利益は前年同期比9.7%減少の2億74百万円、経常利益は前年同期比7.9%減少の4億42百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比12.7%減少の2億75百万円となりました。

事業セグメント別の状況は以下のとおりであります。

#### (アパレル事業)

アパレル事業は「強い商品力と販売力」が最重要課題であるという認識を基に、企画部門は高品質・高感度な付加価値のある「ものづくり」を目指して、ブランドコンセプトの明確化と差別化を徹底し、クリエイション力・MD力を強化して、更なる独自性と複雑性を追求すべく取り組みました。

営業部門は、質の向上を伴った売上高の拡大を最重要課題として認識し、店頭運営力の更なる向上に努めると共に、人材・能力を重視したショップ開発を推進してまいりましたが、衣料品に対する消費者の節約志向は依然として根強く、売上高は前年同期比4.7%減少の50億84百万円、営業利益は前年同期比9.4%減少の3億21百万円となりました。

#### (テキスタイル事業)

テキスタイル事業は、自己完結型ビジネススタイルを堅持しながら次世代育成も含めた継続性のある組織体制構築に取り組み、一方で「ヴィンテージコレクション」を中心とした意匠力の再整備や、素材・加工方法の開発推進による提案力の向上を推進し、企画提案型テキスタイルコンバーターとしての機能充実と新たな可能性追求に努めましたが、アパレル各社のブランド再編や市場環境を反映した発注抑制による影響が大きく、売上高は前年同期比10.0%減少の3億91百万円、営業利益は前年同期比87.6%減少の0百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債、及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は227億34百万円となり、前連結会計年度末比1億5百万円の減少となりました。

流動資産は119億14百万円となり、前連結会計年度末比4億80百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加によるものであります。また、固定資産は108億19百万円となり、前連結会計年度末比5億85百万円減少いたしました。これは主に、投資その他の資産の減少によるものであります。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は30億49百万円となり、前連結会計年度末比89百万円の減少となりました。

流動負債の残高は22億94百万円となり、前連結会計年度末比1億11百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等及び賞与引当金の減少と未払金の増加によるものであります。また、固定負債は7億55百万円となり、前連結会計年度末比22百万円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加によるものであります。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は196億84百万円となり、前連結会計年度末比15百万円減少いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

なお、自己資本比率は、86.6%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、2億84百万円増加（前年同四半期は1億16百万円増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、3億98百万円増加（前年同四半期は6億82百万円減少）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億17百万円減少（前年同四半期は3億9百万円減少）となりました。これは主に、配当金の支払による支出によるものであります。

これらの結果、現金及び現金同等物は、前連結会計年度に比べ、4億66百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末の残高は71億53百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績及び最近の業績動向を踏まえ、平成28年5月9日に公表いたしました平成29年3月期通期連結業績予想を修正しております。

## ①平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,400	780	1,080	660	34.73
今回修正予想 (B)	11,700	690	1,010	620	32.62
増減額 (B-A)	△700	△90	△70	△40	—
増減率 (%)	△5.6	△11.5	△6.5	△6.1	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	12,260	666	1,046	647	33.74

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因により予想数値と異なる場合があります。

## ②修正の理由

先行き不透明な経済環境により、消費者の節約志向や低価格志向が続くことが予想され、当第2四半期連結累計期間の業績の状況も踏まえ、売上高は前回予想を下回る見込みであります。また、利益面におきましても、売上高の減少等により前回予想をそれぞれ下回る見込みであります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第2四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ4百万円増加しております。

## (追加情報)

当第2四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,687	8,153
受取手形及び売掛金	1,359	1,105
商品	2,036	2,304
原材料及び貯蔵品	31	41
繰延税金資産	119	77
その他	217	243
貸倒引当金	△17	△11
流動資産合計	11,434	11,914
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,878	1,809
土地	3,558	3,558
その他(純額)	303	295
有形固定資産合計	5,740	5,663
無形固定資産		
	472	563
投資その他の資産		
投資有価証券	1,305	1,249
長期貸付金	5	9
繰延税金資産	-	10
投資不動産(純額)	2,411	2,403
差入保証金	728	687
その他	758	248
貸倒引当金	△18	△17
投資その他の資産合計	5,191	4,592
固定資産合計	11,404	10,819
資産合計	22,839	22,734

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	960	1,011
短期借入金	380	380
未払法人税等	224	122
賞与引当金	254	157
役員賞与引当金	21	9
その他	565	614
流動負債合計	2,406	2,294
固定負債		
長期借入金	-	30
繰延税金負債	3	0
退職給付に係る負債	225	221
資産除去債務	107	106
長期末払金	167	167
その他	229	230
固定負債合計	732	755
負債合計	3,138	3,049
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,346	2,346
資本剰余金	8,127	8,127
利益剰余金	10,605	10,633
自己株式	△1,705	△1,705
株主資本合計	19,372	19,400
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	305	266
退職給付に係る調整累計額	22	17
その他の包括利益累計額合計	328	283
純資産合計	19,700	19,684
負債純資産合計	22,839	22,734

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	5,769	5,476
売上原価	2,482	2,384
売上総利益	3,287	3,091
販売費及び一般管理費	※1 2,983	※1 2,817
営業利益	303	274
営業外収益		
受取利息	7	4
受取配当金	22	23
受取地代家賃	200	189
貸倒引当金戻入額	6	6
その他	17	14
営業外収益合計	254	239
営業外費用		
支払利息	1	1
賃貸費用	74	66
その他	0	2
営業外費用合計	76	70
経常利益	481	442
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	10	29
特別損失合計	10	29
税金等調整前四半期純利益	470	413
法人税、住民税及び事業税	99	90
法人税等調整額	55	47
法人税等合計	155	137
四半期純利益	315	275
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	315	275
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26	△39
退職給付に係る調整額	2	△4
その他の包括利益合計	△24	△44
四半期包括利益	291	231
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	291	231
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	470	413
減価償却費	207	183
その他の償却額	7	8
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6	△7
賞与引当金の増減額(△は減少)	△130	△97
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△17	△12
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3	△3
受取利息及び受取配当金	△29	△28
支払利息	1	1
固定資産売却損益(△は益)	△0	△0
固定資産除却損	10	29
売上債権の増減額(△は増加)	224	253
たな卸資産の増減額(△は増加)	△221	△278
仕入債務の増減額(△は減少)	58	50
その他	△176	△71
小計	393	442
利息及び配当金の受取額	29	29
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額	△305	△185
営業活動によるキャッシュ・フロー	116	284
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,000	△1,000
定期預金の払戻による収入	1,000	1,500
有形固定資産の取得による支出	△217	△111
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△439	△2
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
貸付けによる支出	△2	△4
貸付金の回収による収入	3	1
差入保証金の差入による支出	△28	△5
差入保証金の回収による収入	13	30
その他	△11	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△682	398
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	30
自己株式の取得による支出	△20	△0
配当金の支払額	△289	△247
財務活動によるキャッシュ・フロー	△309	△217
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△876	466
現金及び現金同等物の期首残高	7,143	6,687
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 6,267	※1 7,153

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結会計期間(自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年5月8日 取締役会	普通株式	289	15	平成27年3月31日	平成27年6月11日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年5月9日 取締役会	普通株式	247	13	平成28年3月31日	平成28年6月13日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

	報告セグメント			調整額 (注)1 (百万円)	四半期連結 財務諸表計上額 (注)2 (百万円)
	アパレル 事業 (百万円)	テキスタイル 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	5,334	435	5,769	—	5,769
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	10	22	32	△32	—
計	5,344	457	5,802	△32	5,769
セグメント利益	354	2	357	△54	303

(注) 1. セグメント利益の調整額△54百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△54百万円が含まれております。

尚、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

	報告セグメント			調整額 (注)1 (百万円)	四半期連結 財務諸表計上額 (注)2 (百万円)
	アパレル 事業 (百万円)	テキスタイル 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	5,084	391	5,476	—	5,476
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	12	27	△27	—
計	5,099	404	5,503	△27	5,476
セグメント利益	321	0	322	△47	274

(注) 1. セグメント利益の調整額△47百万円には、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△49百万円が含まれております。

尚、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。